



# ことばの教室だより

白岡市立篠津小学校 平成29年12月号

長いと思っていた2学期も残りわずかとなりました。自分の今年を振り返るとあっという間に過ぎてしまったような気がします。子どもたちはみんな着々と成長しており、時の流れを実感します。その成長に喜びとパワーをもらい、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

## ことばを育む

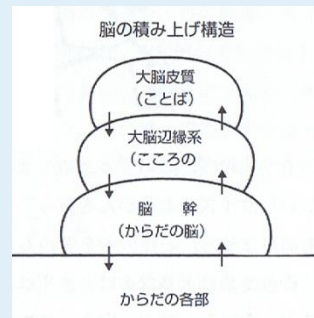
ことばがはっきりしない、ことばが繋がらないなど、ことばについての相談を受けることがたくさんあります。学校生活を送ったり、人とコミュニケーションをとったりする上で、ことばは重要な役割を果たしているのです。とても気になる場所ですね。改めて、ことばについて考えてみたいと思います。

## 脳の積み上げ構造

お正月の重ね餅を想像してみてください。

- 1番下のお餅は「『からだ』をつかさどる脳」
- 2段目のお餅は「『こころ』をつかさどる脳」
- 1番上にのるおみかんは「『知力』や『ことば』をつかさどる脳」

早手回しに、大きくて上等なおみかんを買ってきても、お餅の大きさがSサイズだったり、つきたてで柔らかかったりすると、のせることができません。無理にのせると転がり落ちたり、やわらかいお餅がつぶれたりするかもしれません。「早く」「大きな」おみかんを！と焦るより、まずは大きなしっかりしたお餅をこしらえることが大切です。



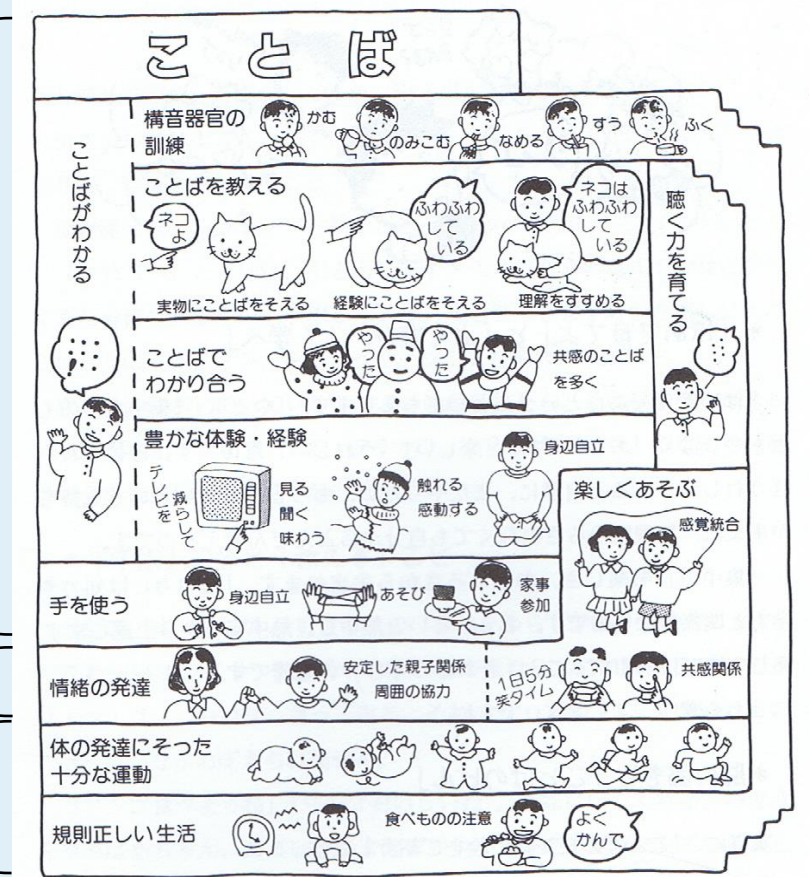
引用『ことばの遅い子』中川信子

## 脳の働きとことばのビル

**大脳皮質**  
「知力」や「ことば」を働かせるところ

**大脳辺縁系**  
「こころ」の働きの元じめ

**脳幹**  
「からだ」の動きや生命の働きをつかさどるところ



脳の仕組みとことばの発達を関連づけると、上のような「ビル」に例えて説明することができます。「ことば」だけにとらわれるのは、いきなり一番上の階をつくらうとするようなものになります。まずはビルの土台となる「規則正しい生活」や「体の発達に添った十分な運動」があり、これらの基礎づくりに力を入れることが、しっかりとしたことばづくりにつながります。次は「情緒の発達」で、楽しい食事、嬉しい遊び、おもしろい体験、自分の気持ちをわかってもらえる安心感、大好きな人がいる喜びなどがこころを育てていきます。最上階の「ことば」が豊かなものになるためには、こうしてじっくりビルを建てていくことが大切なのです。

簡単なように感じられますが、実はとても高次な脳機能である「ことば」。生活の中で少し意識するだけでも変化があるかもしれません。できることから少しずつ実行してみましょう。

## 3学期の指導予定

2学期もことばの教室にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。3学期は1月15日(月)より個別指導を開始する予定です。個別の予定表をお渡ししますので、学校や学級の予定と合わせてご確認ください。よろしくお願いたします。



## 運盛り



「冬至にかぼちゃ」は良く知られている風習ですが、これは「冬至の運盛り」という習わしに由来します。冬至に「ん」のつくものを食べると「運」が呼び込めるといわれており、縁起かつぎだけでなく、栄養をつけて寒い冬を乗り切るための昔からの知恵でもあります。



白岡市教育委員会

0480-92-1111 (代表)

篠津小学校ことばの教室

0480-91-0017 (直通)

